

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公開番号】特開 2002-33964 (P2002-33964A)
 【公開日】平成 14 年 1 月 31 日 (2002.1.31)
 【出願番号】特願 2001-155225 (P2001-155225)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/335
 G 0 6 T 1/00
 H 0 4 N 1/409
 H 0 4 N 1/60
 H 0 4 N 5/217
 H 0 4 N 9/07

【F I】

H 0 4 N 5/335 P
 G 0 6 T 1/00 4 6 0 E
 H 0 4 N 5/217
 H 0 4 N 9/07 A
 H 0 4 N 1/40 1 0 1 D
 H 0 4 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 19 日 (2005.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各画素がそれぞれ値を有する複数の画素から形成されたソース画像中の 1 以上の欠陥画素 (X) を補正する方法であって、前記欠陥画素 (X) を該欠陥画素 (X) の近くに位置する画素値から計算された曲率情報に基づいて補正することからなる方法。

【請求項 2】

前記欠陥画素 (X) を 2 つの異なる画像方向について計算された曲率情報に基づいて補正する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記欠陥画素 (X) を取り囲む画素の値に基づいて前記曲率情報を計算するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記曲率情報から判定された補間方向において前記欠陥画素 (X) と整列する画素の値を補間することにより、前記欠陥画素 (X) を補正する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記補間方向において前記欠陥画素 (X) と整列する画素の値を線形補間することによって計算された値を、前記欠陥画素 (X) に割り当てる、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記欠陥画素 (X) の両側に位置する 2 つの非欠陥画素の値を線形補間することによって計算された値を、前記欠陥画素 (X) に割り当てる、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

割り当てる欠陥画素値を加算 (8 6) および桁送り (8 8 , 9 0) の演算によって計算する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

各光検出器がそれぞれ色の画素値を生成する複数の光検出器を有する画像センサ (2 0) から前記ソース画像を得るステップをさらに含み、重なり合う画素位置を持たない複数のカラープレーン (4 0 , 4 2 , 4 4 , 4 6) に前記色を配置し、前記欠陥画素 (x) を同一のカラープレーン (4 0 , 4 0 , 4 4 , 4 6) 内の画素の値から計算された曲率情報に基づいて補正する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

各画素がそれぞれ値を有し、カラープレーン (4 0 , 4 2 , 4 4 , 4 6) にそれぞれ対応する、複数の画素から形成されたソース画像中の 1 以上の欠陥画素 (X) を補正する方法であって、

同一のカラープレーン上における欠陥画素 (X) の近くに位置する画素の値から中間画素値 (M) を判定するステップと、

前記欠陥画素 (X) を前記中間画素値 (M) に基づいて補正するステップと
からなる方法。

【請求項 10】

前記欠陥画素値と前記中間画素値 (M) との差を表す差分値を計算するステップをさらに含み、前記差分値が閾値 (T) を越えたという判断に応じて、前記欠陥画素値を前記中間値 (M) で置き換えることにより前記欠陥画素 (X) を補正する、請求項 9 に記載の方法。